

## VPN-1 R65 FAQ

### 一般事項

#### VPN-1 R65 の主な特徴は何ですか？

VPN-1 の新バージョン R65 では、主に次の 3 点に焦点を当てます。

- **低価格/高パフォーマンス:** VPN-1 R65 は、ソフトウェアとハードウェアの合計が 300 万円という価格帯で、12Gbps のファイアウォール・スループット(以前のバージョンから 20%の向上)を実現しています。また、SmartDefense による侵入防御のパフォーマンスは、従来の 2 倍となる 5Gbps を実現しています(デフォルト設定を有効にした場合)。
- **リアルタイムの管理プラグイン:** R65 リリースの VPN-1 SmartCenter では、必要とする機能を選択し柔軟に機能アップグレードを行えるようになりました。VPN-1 ゲートウェイに新機能が追加されたり、新製品が登場した場合、SmartCenter の完全なアップグレードを行うのではなく、SmartCenter が必要とする機能のみを選択しアップグレードし、新機能を追加することができます。これにより、アップグレード・プロセスが簡素化されると共に、容易なアップグレードはセキュリティ管理機能を常に最新の状態に維持することを可能にします。
- **エンドポイント・セキュリティとの統合強化:** R65 リリースの VPN-1 では、エンドポイント・セキュリティ・スイートの Integrity との連携、および Intel vPro テクノロジーを搭載したネットワーク・インタフェース・カード(NIC)との相互作用を通じて、エンドポイントでポリシー遵守を実施できるようになりました。これにより、VPN-1 ゲートウェイをネットワーク・アクセス・コントロール・ソリューションの 1 つとして利用し、エンドポイントをより確実に制御することが可能になります。

#### その他の新機能にはどのようなものがありますか？

- **ブリッジ・モード:** VPN-1 は、レイヤ 2 ファイアウォールとして導入することもできるため、導入によるネットワークへの影響を最小限に抑えることができます。
- **VoIP セキュリティの強化:** より広範な VoIP ベンダーおよび VoIP プロトコルがサポートされるようになりました。  
新たにサポートされる VoIP 機能の詳細については、チェック・ポイントのドキュメント『What's New』と『Release Notes』を参照してください。
- **サービス妨害攻撃(DoS)に対する防御機能の強化:** VPN-1 R65 では、一般的なサービス妨害攻撃を受けている場合でも、ゲートウェイのメモリを確実に確保できるようにするための仕組みが追加されました。
- **SmartView Monitor による Eventia Analyzer のサポート:** Eventia Analyzer コンポーネントのステータスを SmartView Monitor から確認できるようになりました。

## 製品について

### お客様は、どのような場合にパフォーマンスの向上のメリットを享受できますか？

SmartDefense のデフォルト設定を有効にした場合、ファイアウォールと侵入防御のパフォーマンスが向上しています(この両機能のスループットは、それぞれ 12Gbps と 5Gbps)。ほとんどのお客様の場合、SmartDefense の設定を有効にできるようにすることが、境界セキュリティのパフォーマンスを向上させるうえでの最重要ポイントになります。

### お客様が使用している回線が専用線 T1 か、速くても T3(45 Mbps)といった環境でも、今回のパフォーマンス向上の恩恵を受けることはできますか？

T3 回線を使用している場合、すべての SmartDefense 設定を有効にすることにより、境界で最も高いレベルの防御を実現できます。またネットワークの主流は、今後 2~3 年のうちに Gigabit Ethernet から 10G Ethernet へと移り始めることにも注目する必要があります。今後に加え、高いセキュリティ機能を高速ネットワークに対応できるようにしておくことで、これらの機能が将来的にボトルネックになることを回避できます。

### VPN-1 のパフォーマンス向上はどのように実現されているのですか？

セキュリティ機能のパフォーマンスが向上した要因は、主に次の 3 つです。

- セキュリティ・アクセラレーション技術の SecureXL など、VPN-1 に搭載されている技術の継続的な改良。R65 ではこの結果として、R62 に比べ、同等のハードウェア上で 20% のパフォーマンス向上を実現しています。
- CPU のマルチコア化とバス転送速度の向上。これにより、プラットフォームでより効率的にセキュリティ処理を行えるようになりました。
- Intel の新プラットフォームに搭載される BIOS の特定の変更に関する同社とチェック・ポイントの共同作業。これによって、セキュリティ・スループットの向上が可能になりました。

### 最大のスループット性能が得られるサポート・プラットフォームにはどのようなものがありますか？

現在のところ、検証が終了しているのは IBM 3650 シリーズのみですが、他のサーバ・ベンダーからも、近日中に対応プラットフォームがリリースされる予定です。基本的には、デュアルコアの Intel Xeon プロセッサ 5100 シリーズを搭載したプラットフォームであれば、相当のパフォーマンス向上を見込むことができます。

### Crossbeam や Nokia のアプライアンスでもパフォーマンスは同じように向上しますか？

Crossbeams と Nokia では、アクセラレーション効果を得るために、すでにハードウェア・レベルで SecureXL が使用されていることを認識する必要があります。また、どちらも Intel アーキテクチャを採用しているため、両ベンダーとも、新プラットフォームを採用したアプライアンスをリリースする可能性があります。Intel の新テクノロジーを採用した新しいモデルが投入されれば、さらなるパフォーマンス向上が見込まれます。Crossbeam と Nokia のリリース予定については、各社の担当者にお問い合わせください。

**管理プラグインはどのようなものが提供されますか？**

VPN-1 R65 のリリースと共に、Connectra を集中管理するための管理プラグインが提供されます。これにより、統一セキュリティ・アーキテクチャがさらに拡張されます。今後は、新機能のリリースに合わせて、対応するプラグインも提供される予定です。

**管理プラグインはどのように配布されることになりますか？**

管理プラグインは、基本的にゲートウェイのアップデートと共に配布される予定です。新製品に対応する管理プラグインは、独立したパッケージとして提供される可能性があります。

**R65 にアップグレードしなくても管理プラグインを利用できますか？**

管理プラグインを利用するには、まず R65 にアップグレードする必要があります。R65 にアップグレードすることで、管理サーバに対し必要な管理機能のみ追加できるよう変更が可能となります。これにより、新しい機能を検証したり、最新技術を導入したりするために必要な時間を短縮することができます。

**OPSEC パートナーの製品でも管理プラグインを利用できますか？**

現在のところ、管理プラグインはチェック・ポイントのソリューション専用となっています。

**VPN-1 UTM に搭載される URL フィルタリング技術はどのベンダーが提供するものですか？**

VPN-1 UTM と UTM-1 には、SurfControl 社の URL フィルタリング技術が搭載されます。

**URL フィルタリングのアップデートはどのように行われますか？**

URL フィルタリングのアップデートは、ウイルス・シグネチャのアップデートと同様に、SmartDefense サービスを通じて提供されます。

**Nokia アプライアンスで UTM 機能はサポートされますか？**

サポートされます。VPN-1 の IPSO バージョンで、アンチウイルスや URL フィルタリングを含むすべての UTM 機能がサポートされる予定です。IPSO バージョンは、一般出荷日の約 2 週間後にリリースされる予定となっています。

**Integrity と VPN-1 はどのように連携するのですか？**

ユーザが VPN-1 ゲートウェイを越えるアクセスを試みると、VPN-1 ゲートウェイは、Integrity Server に対し、そのユーザが認可を受けているかどうかを問い合わせます。ユーザが認可を受けていない場合は、管理者によって定義されたアクションが実行されます。

**Integrity によって、ユーザがポリシーを遵守していないことが報告された場合、どのようなアクションを実行できますか？**

ユーザのアクセスを拒否するか、あるいはユーザを追跡することができます。アクセスを拒否する場合は、HTTP 経由か電子メールでその旨を通知することができます。

**Integrity をインストールしていないゲストはどのように扱われますか？**

管理者は、ホワイト・リストを作成することで、Integrity によるポリシー遵守チェックなしでアクセスを許可するゲストを指定できます。また、エンドポイント・セキュリティの実施をモニタ専用モードで行うと、アクセスをブロックせずに誰がポリシーを遵守していないのかをチェックすることができます。

**VPN-1 が今回よりサポートする Intel vPro テクノロジーとは、どのような技術ですか？**

Intel vPro テクノロジーは、PC をリモート管理できるようにするための技術で、PC の所有コストの低減を可能にします。vPro テクノロジーを利用すると、リモートから PC の監査や管理を行ったり、OS 障害時の Out-of-band での診断を行なえます。

**VPN-1 と vPro テクノロジーはどのように連携するのですか？**

VPN-1 R65 では、先進の管理技術である vPro テクノロジーを搭載した Intel の NIC と連携して動作することができます。ピア・ツー・ピアによるファイル共有などの特定の振る舞いを定義したルールを作成することで、ゲートウェイによってその振る舞いが検出された場合に、該当するエンドポイントをネットワークから切り離すことができます。InterSpect との違いは、該当するエンドポイントを特定のセグメントに隔離するのではなく、ネットワークから切り離すことができるという点です。R65 では、振る舞いルールはテキスト・ファイルで定義します。

**vPro テクノロジーを使用すれば、それ以外のエンドポイント・セキュリティは不要になるのですか？**

いいえ。VPN-1 と vPro テクノロジーを統合することで、管理者は、セキュリティ・ポリシーに違反しているエンドポイントをより強力に制御できるようになりますが、Integrity などのエンドポイント・セキュリティ・スイートと同じレベルのセキュリティが提供されるわけではありません。PC が vPro テクノロジーを搭載している場合でも、ワームやウイルスへの感染を防止するには、Integrity などのセキュリティ・ソフトウェアを使用する必要があります。

**VPN-1 でブリッジ・モードはサポートされますか？**

R65 では、ブリッジ・モードをサポートします。R65 の VPN-1 ゲートウェイは、レイヤ 2 ファイアウォールとして導入することもできます。つまり、IP アドレスやネットワークのルーティング構成を変更することなく、ネットワークにインラインで配置することが可能です。この場合、VPN-1 はいわば「不可視」のファイアウォールとして動作することになります。

**VPN-1 R65 は、内部セキュリティとどのように関係するのですか？**

ブリッジ・モードに対応し、エンドポイント・セキュリティの実施機能が追加されたことで、VPN-1 は、組織の内部セキュリティ戦略を補完する役割を果たせるようになりました。VPN-1 ゲートウェイが内部ネットワーク環境で利用可能となり、5 Gbps という侵入防御スループットを実現し、さらに既存のセキュリティ環境内で管理可能になったことは、多くの環境において、内部ネットワークのセキュリティを強化するデバイスとしても利用可能になったことを意味します。

**VPN-1 でフェイル・オープン NIC はサポートされますか？**

現在のところ、SecurePlatform ベースの VPN-1 ではフェイル・オープン NIC はサポートされていません。

**ClusterXL の信頼性向上はどのように実現されているのですか？**

R65 では、ClusterXL でインタフェースのボンディングがサポートされるようになりました。これにより、完全にメッシュ型のトポロジを採用してハイ・アベイラビリティを実現することが可能になります。これまで、各ゲートウェイはその背後にある 1 台のスイッチに接続されていました。そのため、スイッチに障害が発生した場合、すべてのトラフィックは別のゲートウェイに再ルーティングされていました。R65 では、各ゲートウェイは複数のスイッチに接続することができるため、1 台のスイッチに障害が発生しても、トラフィックは別のゲートウェイを通ることなく残りのスイッチに再ルーティングすることができます。

**SecureClient Mobile はサポートされますか？**

SecureClient Mobile は VPN-1 R65 でサポートされており、VPN-1 R65 を通じて管理することができます。SecureClient Mobile は、Internet Security Suite メディア・パックにも含まれています。

**R65 では、サービス妨害攻撃対策としてどのような強化が行われていますか？**

VPN-1 R65 では、サービス妨害攻撃対策として、主に次の 2 つの強化が行われています。

- SYN Cookie: 既存の SYNDefender の拡張機能である SYN Cookie により、メモリを浪費することなく SYN フラッド攻撃に対処できるようになります。SYN フラッド攻撃の可能性があるトラフィックが検出された場合、VPN-1 は、SYN のやり取りが完了するまで、コネクション・テーブルでその接続を追跡することを中止します。
- アグレッシブ・エイジング: サービス妨害攻撃が検出された場合、VPN-1 は、規定の時間が経過するのを待たずに古いアイドル接続の破棄を開始します。これにより、ゲートウェイのメモリが浪費されることを防止でき、不正な接続によって正規の接続が確立できなくなるという状態をなすことを防ぐことができます。

## ご購入について

### R65 へのアップグレードはどのようなプロセスになりますか？

有効なソフトウェア・サブスクリプション契約を締結されているお客様は、無償で R65 を入手できます。R65 が収録されたメディア・キットは、パートナー経由でご入手いただくか、またはチェック・ポイント Web サイトの「GetSecure」ページから直接ご注文ください。

アップグレードに関する詳細は、ご購入のチェック・ポイント製品取り扱い代理店へお問い合わせ下さい。

### R65 にアップグレードするためには、R60 で管理サーバを構築している必要がありますか？

いいえ。VPN-1 NG with Application Intelligence R55 や VPN-1 NG FP3 を含め、VPN-1 NGX R60 よりも前のバージョンの多くは、直接 R65 にアップグレードできます。

個々のアップグレード・パスの詳細については、『Getting Started Guide』をご覧頂くか、ご購入のチェック・ポイント製品取り扱い代理店へお問い合わせ下さい。



チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-5-3 建成新宿ビル 6F  
<http://www.checkpoint.co.jp/> E-mail: [info\\_jp@checkpoint.com](mailto:info_jp@checkpoint.com) Tel: 03(5367)2500

記載された内容、製品仕様は、予告無く変更される場合があります。  
©2003-2007 Check Point Software Technologies Ltd. All rights reserved.